

# 平成27年度施策評価シート

基本施策	安心していきがいをもって老後を暮らせる環境をつくる		
総合計画での位置付け	政策	2	「やさしさ」のあるまちをめざして
	分野	3	高齢者福祉
主要な計画	・老人福祉計画 ・介護保険事業計画 ・地域福祉計画		
基本施策を実施する背景や課題・目的	<p>・本市の高齢化率は、市町村合併時である平成17年の23.3%から平成27年には30.1%と上昇しており、今後も団塊の世代の加齢により一層の高齢化の進展が見込まれる。</p> <p>・それにともない介護保険制度の要介護認定者数の大幅な増加が見込まれるとともに、家族形態や意識、居住形態などの多様化により、各家庭における高齢者介護の機能の低下が懸念される。</p> <p>・本施策は、地域の人々が互いに手をむすび、ともに支えあいながら子どもから高齢者まで誰もが安心して暮らせる「やさしさ」あるまちづくりをすすめるため、安心していきがいをもって老後を暮らせる環境をつくることを目的としている。</p>		

## 1 概要

施策	施策の内容	これまでの取り組み	担当部局
1 高齢者福祉サービスの充実	ア 地域包括支援センターの機能の充実	・高齢者が住み慣れた地域で尊厳あるその人らしい生活が維持できるよう支援するため、高齢者の総合相談窓口として地域包括支援センターを直営で設置し運営した。 ・さらなる機能向上のため、地域福祉や権利擁護に関する事業に精通した高山市社会福祉協議会への委託に向けた調整を行い、平成27年度から委託を実施した。	福祉部
	イ 介護予防事業の実施	・高齢者が要介護状態になることをできる限り防ぐことを目的に、通所型介護予防事業や高齢者健康教室事業を実施した。	福祉部
	ウ 良質な介護保険サービスの提供の推進	・介護保険事業計画に基づき事業運営を行い、事業者間では連絡調整会議の開催、最新情報等の提供などの連携を図りながら介護サービスの提供を推進した。 ・適正な介護保険サービスが提供されるようケアプラン点検やサービスを実施する事業者に対する指導を行った。	福祉部
	エ 地域のネットワークと連携した高齢者の生活への支援	・民生児童委員による地域の高齢者の見守りや、関係機関との連携による個別支援をはじめ、医療、福祉、介護、保健、地域、行政の関係者をメンバーとする地域ケア会議を定期的開催するなどして地域包括ケアネットワークの構築をすすめた。	福祉部
	オ 高齢者の生活に対応した住宅への改造に対する相談や貸付、助成の実施	・住宅環境における日常生活の支障を取り除き、住み慣れた住宅で安心して健やかな生活ができるよう、要介護者・要支援者や高齢者が居住する住宅の改造費用及び屋根融雪装置の設置費用の一部を補助した。	福祉部
	カ 高齢者が安心して生活できる環境整備の推進	・厳しい冬季間を高齢者が安心して暮らすことを目的に、社会福祉協議会が高根地域において実施する冬季高齢者集合住宅設置事業に対し、市の空き施設を提供するとともに、その事業費の一部を補助した。	福祉部
	キ 公共交通機関の利用が困難な高齢者の通院などに対する移送支援サービスの提供	・支所地域在住の単独では公共交通機関の利用が困難な要支援・要介護認定者等に対し、医療機関や在宅福祉サービスを提供する場などへ送迎を行うサービスを行った。	福祉部
	ク 高齢者の健康づくりへの支援	・高齢者の閉じこもりの防止や健康増進、心身のリフレッシュを目的に、65歳以上の高齢者に対し年間20回分の温泉保養施設等利用費補助を実施した。 ・地域が管理している公園等に設置する高齢者のための健康づくり器具について、3基(上限30万円/基)までの費用を補助した。	福祉部
	ケ 老人福祉施設の整備推進、老人福祉施設におけるサービスの充実	・地域福祉活動の拠点となる老人福祉施設の整備を行い、指定管理者制度を活用し継続的にサービスを提供した。 ・第5期介護保険事業計画において、特別養護老人ホームを82床整備することとしており、うち2床は平成24年度に既存施設の増床を行い、80床については平成24年度に公募により事業者を選定し、開設に向け整備を推進した。	福祉部
	コ 高齢者の権利擁護の推進	・高齢者の尊厳ある暮らしを守るため、高齢者虐待防止、消費者被害防止、成年後見制度などの情報提供や啓発をはじめ、個別の相談支援を行った。	福祉部
サ 緊急通報システムの普及や徘徊高齢者対策などの実施	・一人暮らしの高齢者、重度身体障がい者等における火災や発病、事故等の日常生活の不安を軽減するとともに、迅速で適切な救助及び援助活動を行うために緊急通報装置の設置を行った。 ・認知症の高齢者の事故防止と、家族の方の不安を軽減するため、徘徊高齢者探索システムの端末を貸与した。	福祉部	
シ 日常生活に必要な用品の給付や貸与	・要介護者や高齢者世帯の方の自立生活を支援するため、老人用電話やシルバーカーなどの貸与や、電磁調理器や火災警報器の購入費用の助成を行った。	福祉部	

		ス 家族介護への支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・在宅で常時オムツが必要な高齢者を介護している家族に対し、介護に必要なオムツ等の購入券を交付し、費用の一部を助成した。</li> <li>・要介護4・5の高齢者を在宅で6ヶ月以上介護されている方に、慰労金を支給した。</li> </ul>	福祉部
		セ 高齢者の生活実態に応じた効率的な在宅福祉サービスの提供	<ul style="list-style-type: none"> <li>・虚弱な高齢者の方の在宅での自立した生活を支援するため、支援員の派遣や配食サービスなどを行った。</li> </ul>	福祉部
2	地域や社会への参加の推進	ア 余暇活動を行う場の提供	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者の余暇活動と地域での社会参加を推進するため、長寿会に対する補助金を交付した。</li> <li>・農地を持たない高齢者に農園を無料で貸し出した。</li> <li>・高齢者の活動の場として老人いこいの家や老人福祉センター、よって館を設置運営し、活動の場を提供した。</li> </ul>	福祉部
		イ 社会活動、地域活動への参加の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者の社会活動を支援するため、長寿会の活動に対し補助金を交付した。</li> <li>・高齢者の自主的な活動を支援するため、高山地域に3ヶ所の活動の場「よって館」を設置し社会福祉協議会に運営を委託した。</li> <li>・ボランティアセンターを通じた活動団体の費用の助成により、ボランティア活動を支える高齢者の社会活動を支援した。</li> </ul>	福祉部
		ウ 外出や社会参加時の移動に対する支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者の日常的な外出を支援するため、高齢者バス優待乗車券(悠々手形)の購入に対し費用の半額を補助した。</li> <li>・支所地域において公共交通機関を利用することができない高齢者等に対し外出支援事業を実施し、外出を支援した。</li> </ul>	福祉部
			<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者の通院や買い物など、利便性の高い移動手段としての地域公共交通を整備した。</li> </ul>	基盤整備

## 2 指標の推移

指標名	単位	関連 施策	好まし い 方向	H21	H22	H23	H24	H25	H26	目標
高齢者の総合相談延べ件数	件	1-ア	↑	8,168	10,926	13,868	15,100	15,647	16,832	15,800
高齢者健康教室参加延べ人数	人	1-イ	↑	8,930	10,325	11,557	10,265	8,385	7,509	15,000
高齢者等住宅改造助成件数	件	1-オ	↑	271	233	302	249	243	229	450
外出支援事業延べ利用者数	人	1-キ	↑	12,723	12,247	12,822	13,151	12,162	10,958	12,900
温泉保養施設等延べ利用者数	人	1-ク	↑	78,014	78,447	102,415	107,686	107,525	103,285	110,000
福祉センター施設延べ利用者数 (老人いこいの家含む)	人	1-ケ	↑	52,055	55,245	50,560	50,611	49,722	49,683	52,000
緊急通報システム設置数	件	1-サ	↑	575	592	587	578	543	546	705
介護者慰労金受給者数	人	1-ス	↑	542	605	608	610	587	591	680
シルバー人材センター会員数	人	2-イ	↑	988	959	917	877	857	870	-
シルバー人材センター受注件数	件	2-イ	↑	5,498	5,298	5,833	5,675	5,634	5,534	-
面接会等の参加者数	人	2-イ	↑	-	477	470	593	489	419	550
面接会等による就職者数	人	2-イ	↑	-	-	48	34	28	31	50
無料職業紹介所の相談件数	件	2-イ	↑	274	294	477	264	177	128	300
無料職業紹介所による就職件数	件	2-イ	↑	3	42	39	14	6	3	40
1便あたり平均利用者数	人	2-ウ	↑	-	-	3.1	3.8	4.2	4.1	4.3
延べ利用者数	人	2-ウ	↑	-	-	179,882	173,611	172,216	164,063	200,000
市民乗車パス発行数	人	2-ウ	↑	-	1,908	2,579	3,584	2,301	2,353	-

## 3 市民アンケートの結果

		現在の「満足度」		今後の「重要度」		市民満足度を高めるために 改善等を行う優先度	
H21	点数	52.9	(平均) (54.6)	87.1	(平均) (79.7)	I	高い
	順位	42施策中 29 番目		42施策中 7 番目			
H25	点数	55.7	(平均) (56.9)	86.7	(平均) (81.8)	I	高い
	順位	43施策中 28 番目		43施策中 12 番目			
H27 (今回)	点数	52.4	(平均) (56.0)	87.0	(平均) (81.2)	I	高い
	順位	43施策中 30 番目		43施策中 9 番目			

4 一次評価(担当部局による評価)

担当部局		福祉部	
施策	七次総合計画における検証(成果や課題)		今後の方向性
1	高齢者福祉サービスの充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者の増加に伴い、地域包括支援センターでの相談件数や介護サービス給付費が増加している。</li> <li>・高齢者の健康教室が定着し、新規の教室への参加者が減少している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成27年度から地域包括支援センターを高山市社会福祉協議会に委託するとともに、各支所に専門職を配置するなど体制を強化した。</li> <li>・元気な高齢者が支援が必要な高齢者を支える仕組みをつくる必要がある。</li> <li>・新たに健康教室の参加者を募る方法から、地域で自主的に活動しているグループの支援に移行していく必要がある。</li> </ul>
2	地域や社会への参加の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者の活動の場として老人福祉センターなどの施設を市が運営し高齢者に提供しているが、施設の老朽化が進んでいる。</li> <li>・長寿会の活動に対し助成している。</li> <li>・高齢者バス優待乗車券の購入に対する助成や、外出支援事業を実施している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・継続して利用いただけるよう計画的な修繕を行う必要がある。</li> <li>・長寿会のメリットを生かした活動を促し、活性化を図る必要がある。</li> <li>・さまざまなサービスの周知に努め、利用を促進する必要がある。</li> <li>・元気な高齢者が支援が必要な高齢者を支える仕組みをつくる必要がある。</li> </ul>

担当部局		商工観光部	
施策	七次総合計画における検証(成果や課題)		今後の方向性
2	地域や社会への参加の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・シルバー人材センターへの支援や連携、「高山市と岐阜労働局による職業相談・紹介等の一体的実施に関する協定」による岐阜労働局との連携強化、市民の就職相談等の充実など就業機会の確保に努めたが、高齢者の就職者数は伸び悩んでいる。</li> <li>・シルバー人材センターの会員数は減少傾向にあるものの、対する受注件数はほぼ横ばいで確保している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定年延長・再雇用の促進やシルバー人材センターへの支援などによる高齢者の技術や経験の活用促進</li> <li>・就職面談会の開催や職業相談の実施などによる職業安定所と連携した雇用機会の拡大</li> </ul>

担当部局		基盤整備部	
施策	七次総合計画における検証(成果や課題)		今後の方向性
2	地域や社会への参加の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市町村合併後、旧市町村単位でのバス運行の継続により地域間格差が生じていたが、平成23年3月に公共交通を再編した。</li> <li>・平成22年3月に策定の地域公共交通戦略・総合連携計画は、平成27年3月に地域公共交通網形成計画へと見直し、自力での移動が困難な者のサポートができる交通システムの構築に取り組むこととした。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小型車両によるデマンド運行や自家用有償運送の活用などによる地域特性や利用実態に対応した少量輸送体制の確立を進める。</li> <li>・高齢化により自らの移動手段を持たない高齢者などの増加が予想されるため、効率的で低コストな地域公共交通の整備によりサービスの維持向上を進める。</li> </ul>

5 二次評価(企画課、総務課、財政課評価)

課題	今後の方向性
<p>主な課題としては、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域包括ケアシステムが構築されていない。</li> <li>・技術や経験を持つ高齢者が、地域社会で十分に活躍できていない。といったことが挙げられる。</li> </ul>	<p>市民アンケートの結果、施策に対する現在の満足度が低く、今後の重要度が高くなっていることを踏まえ、老人福祉計画などに基づき、心身ともに健康で、住み慣れた地域で自分らしく、安心して暮らせるまちづくりを進めていく必要がある。</p> <p>特に、医療、介護、予防、生活支援、住まいサービスが一体的に提供される地域包括ケアシステムを構築し、充実させる必要がある。</p> <p>また、生涯現役世代として活躍できる場の創出を図る必要がある。</p>

6 外部有識者の評価・意見

七次総合計画における検証に対する評価・意見
<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者で相談窓口へ来られる人はいい方で、窓口に来られない人の中にもっと支援の必要な人たちがいることも想定できるので、支援方法も検討する必要がある。</li> <li>・地域の高齢者の自主的見守り活動(助け合い活動)組織作りを確立する必要がある。まちづくり協議会の高齢者部会活動の中へ組み込まれるなどして、特に市街地の高齢者組織を点検し、災害発生時等を想定した場合の対応を点検する必要がある。</li> <li>・のらマイカー、まちなみバス等の路線バス整備が進んでいるが、公共バス路線の不便な地域や、まちなかであっても不便な地域もある。また、タクシーを利用したのりば運行など、利用者の減少はあってもどうしても必要な人々もいるため、引き続き利便性の向上に努める必要がある。</li> <li>・よって館やまちの縁側など、地域の公民館とは別にいろいろな人たちの交流の場が増えた。これらの施設が地域の住民のために益々利用され交流の場として広がっていくことが必要である。</li> <li>・シルバー人材センターの仕事が減少気味であり、もっと公共的な仕事がシルバー人材センターへ発注されることが必要である。</li> </ul>

【参考】基本施策に関連する予算事業の分析・評価(平成27年度事業評価における担当課評価)

関連 施策	事業 コード	事業名	評価	事業費決算額(千円)	
			点数	H25年度	H26年度
1-ア	11100(14)	地域包括支援センター運営事業費	100	134	172
1-ア・エ・コ	52100(11)	包括的支援事業費	70	24,501	34,718
1-イ	51020(11)	通所型介護予防事業費	90	34,000	34,000
1-イ・2-イ	51060(11)	高齢者健康教室事業費	90	37,260	37,350
1-イ	51070(11)	二次予防事業対象者把握事業費	60	1,994	2,250
1-イ	21100(14)	介護予防サービス計画費	88	31,755	32,546
1-ウ	11100(11)	一般管理事務費	90	6,780	6,502
1-エ	31366	老人福祉関係事務費	100	318	671
1-オ	31329	高齢者等住宅改造助成事業費	90	23,380	28,564
1-カ	31399	地域老人福祉推進事業費(冬季高齢者集合住宅開設事業)	80	2,132	2,020
1-キ	31313	外出支援事業費	80	17,902	16,392
1-ク	31339	温泉保養施設等利用費補助金	70	20,026	20,653
1-ク	31367	高齢者健康づくり器具設置費補助金	60	3,410	3,322
1-ケ	31340	老人福祉施設整備事業費	100	23,600	107,920
1-ケ	31345	老人福祉施設整備費補助金	90	33,642	197,940
1-ケ・2-ア	31380	地域老人福祉センター管理事業費	90	85,107	86,915
1-コ	52230(11)	成年後見制度利用支援事業	90	28	57
1-サ	52220(11)	徘徊高齢者探索事業費	80	166	214
1-サ	52250(11)	緊急通報システム事業費	90	6,667	6,885
1-シ	31354	日常生活用具給付事業	70	95	77
1-ス	52210(11)	家族介護用品等支給事業費	90	4,029	4,218
1-ス	52290(11)	在宅寝たきり老人等介護者慰労金給付費	80	47,364	46,824
1-セ	31303	老人短期入所付加サービス事業費	80	594	559
1-セ	31309	軽度生活援助事業費	90	2,111	2,435
1-セ	31363	寝具洗濯乾燥サービス事業費	70	32	75
1-セ	51040(11)	生活管理指導短期宿泊事業費	80	69	130
1-セ	51050(11)	高齢者ホームヘルプ付加サービス事業費	80	1,191	1,191
1-セ	52270(11)	高齢者配食サービス事業費	80	14,072	12,893
2-ア	31324	老人健康農園事業費	80	906	1,548
2-ア	31336	老人クラブ活動費等補助金	80	9,114	9,076
2-イ	61200	シルバー人材センター育成事業費	88	20,100	20,100
2-イ	61207	中高年齢者等雇用対策事業費	80	107	109
2-イ	61230	労政振興関係事務費	80	2,197	2,052
2-ウ	21600	総合交通対策事業費	80	185,995	199,965

平均点	H25年度	H26年度
82.82	640,778	920,343